

『女性の視点から避難所を考えませんか?』第14回 会議録

- ◆開催日 平成28年9月14日(木) 10:00~12:00
- ◆場所 四谷ひろば B館1階 大人のサロン
- ◆参加者 新宿区危機管理課1名、四谷特別出張所担当
四谷ひろば避難所協議会会長、四谷四丁目町会副会長
地域住民13名 計17名

10:05 開会

ご多用の中にご出席ありがとうございます。前回、一つの区切りとして、仮称レディス会の名称を検討し、仮称をとって「レディス会」と正式に会の名称が決まりました。また、事務局で話し合いについては、進めさせていただきましたが、この機会にメンバーよりレディス会の代表をお引き受けいただくことができました。

代表：平成26年6月~始まったこの会も、早いもので、2年が経ちました。意識として、たくさん人の勉強はしてきましたが、実際に動けるかという自信はありません。8割が圧死で、15分生き延びればなんとかなると言われます。見直してみると忘れていたことも多々あります。今後とも、皆さん方と力を合わせて、頑張っていきたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

新宿区危機管理課担当 新しく四谷ひろばの避難所運営協議会の担当となりました。今年は、二人で担当となります。よろしくお願いいたします。

四谷特別出張所担当 11/27地域の防災訓練があります。具体的な訓練内容は、今後の避難所運営管理協議会の中で検討していくこととなりますが、この中にも町会の割当てで班員として参加される方もいらっしゃると思います。どうぞよろしくお願いいたします。

四谷ひろば避難所運営協議会 会長 レディス会も毎回このように熱心に話し合いを続けていただいておりますので、避難所運営協議会としても、連携をとって、この町の安全安心のために頑張りたいと思います。この四谷ひろばそのものの継続についても、先月、ひろばの会長を筆頭に、地域に残してほしいと希望し、評価委員会に臨みました。定期的に開催しているレディス会の活動も大事な活動として位置づけられていると思います。今後ともよろしくお願いいたします。

10:10 情報交換会

★消防団所属メンバーより 各種情報提供

●7月防災展(ビッグサイト)

1. 投てき型消火器 1本5,000円程度

・メリット 投げ込んで逃げるのが可能

・デメリット 一般の消火器の消火面積には3本~4本必要な為高額

「しかし…各家庭に1本あれば、近隣で協力しあうことで複数本使用可能。初期消火には非常に有効と思われるが金銭的に強制はできないので難しい」と使用の様子を見ての感想

※天ぷら火災用のスティックタイプ有→袋のまま油へ入れると消火後は固まるので処理が簡単

2. 身体を拭くミトン紹介 12枚入り1,000円弱

ミトンの内側にビニールが貼ってあり、衛生面で優れている(フランス医療現場・介護)

3. 臭いを外に出さない防臭専用袋紹介

実験 ①レジ脇のガラガラ袋、②一般的なレジ袋、③専用袋の三種で「ムヒ」を使用しての実験

結果 ②と③は臭いを感じなかったが、時間経過でどうなるか?は未実験

※製造メーカーの話では、「臭い」も「細菌」も出さないとのこと

※実際に避難所での糞尿ごみの集積場所を考えておく事が必要(一般ごみとは分別)

臭い・衛生面・近隣への配慮等含む

●8月 防災国民大会(東京大学内)

トイレ講座参加報告

マンションの污水管について

・縦管も震度7では破損する ⇒ 水を流すと階下へ漏れる

・下水道につながる横管が破損する ⇒ 潰れた下水管に水を流すと、逆流し1階のトイレから汚物があふれる(ゴボゴボ音が出る場合は水を流さない)

・污水管の破損が無くても、少量の水しか流さない事により管に汚物が【付着・乾燥】を繰り返す、水に溶けないティッシュが重なり詰まってしまう。詰まると逆流して汚物があふれる。

また、乾燥による詰まりは、後処理が大変との事。

※トイレに流す水の量は、5リットルほど。新型のものだと、勢いがあり、3.8リットルくら

いで済むものもある。少ない水で、その場は流れても、その先の管の先まで流さないと途中で止まって、そこから詰まり始めるので、要注意。

- ・上下水道が無事の時以外は、水洗トイレには水を流さないのが良いと思われる

発災後のアンケートより

発災後 17 日目に欲しいものは、トイレが一番。20 日後でもトイレが一番。22 日後になって、やっと、トイレが 3 番目になる。

それだけトイレが重要。ストレスで便秘になったり、下痢になったりすることがあるが、さらに、トイレ自体の環境が良くないと、大変だと思う。

和室のトイレについて

ひろばの和室にあるトイレに和式で不便だから、洋式トイレの置き型をかぶせる話が出ていたが、和式トイレは、扉の開きが内側なので、扉が開きにくい。そのために、扉をはずして、カーテンにすることも考えた方が良かった。

★危機管理課より

備蓄倉庫の品物が、今年度末までに、入れ替わる予定です。

ウェットティッシュやプライベートペース用のテントなどが追加を予定しています。

仮設トイレは 7 基あり、校庭の隅にあります。そのマンホールのトイレの蓋が、鋳物で出来ていて、固くなってしまい、開けづらかったものを、塩ビ製に作り替えました。

10:30 茶話会 & 意見交換

★避難訓練 11/27(日)に向けて グループごとに検討

- ①自分の身と家族の安全が第一 ⇒ 安全が確保されないと、人の役には立てない ⇒ ケガをしない事 ⇒ 安全対策
- ②発災後の 15 分が重要である。
- ③町会の伝言板 ⇒ 必要な情報を提供(配給場所や時間・その他) ⇒ 町会の掲示板を利用(カットしたテーブルクロス・油性マジック等)して常設で準備しておく。 ※町会内での情報共有が重要。
- ④実際にひろばが避難所になった時の事を、具体的に考えておくことが必要
※排泄物や生ごみ等の集積場所など
- ⑤少しでも快適な避難所生活を送るためには、トイレの使用環境が重要なポイント
 - ・避難してくる人々に、**事前に**使用方法を周知していく
 - ・現在話し合っているトイレ使用の内容：まずは使用禁止 ⇒ トイレ使用準備(水・ビニール袋等) ⇒ 自分で汚したら自分で処理 ⇒ 綺麗に使用する気持ち(自宅同様に) 等を避難所運営協議会等でも提案し、賛同を得たら避難所訓練や防災訓練や各町会の役員会など利用して、ひろばを避難所としている地域の方々へ事前の周知が重要となる。
 - ・小便と大便を分別し、小便のみ溜めたら下水マンホールへ廃棄 ⇒ ゴミ・凝固剤の減少
- ⑥避難所開設キット(項目別のマニュアル)
※工学院大学が他の避難所と意見交換を行って、作成したものである。今回、四谷中学の避難所で見かけた。誰でもわかるものが欲しいと思っていたので、これは便利だと思い、四谷ひろばにも欲しいと危機管理課に質問

↓

順次、区で配布を予定している。 ⇒ ただし、避難所ごとに体制が違うので、現在、各避難所のマニュアル自体を見直すよう、各避難所管理運営協議会に依頼している。四谷ひろばでは今年度中にキットを導入するように手続きを進めているが、事前にワークショップを実施する必要がある。その日程については現在調整中で、まだ具体的な日程はわからない。

※まだ、先になるということであれば、今までの意見をもとに、「知らない人でも立ち上げができるように」四谷ひろばに合った立ち上げ手順等を検討していくことが大事。

四谷ひろばは、他の避難所とは、大きく異なり、跡地であるために、出来合いのものに合わせると修正がかなり必要になるはず。であれば、独自で検討し、危機管理課に改善してもらうことをすべきだと思う。

そのためには、母体である避難所運営協議会を中心とした検討をしていただくことが望ましい。

11:50 閉会

ご多忙の時期ではありますが、連携をはかっていきたいと思っておりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

【次回、レディス会 10月18日(火) 10:00~ 大人のサロンにて】